

令和7年度富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

1 日 時：令和8年3月27日（金）15:00～16:30

2 場 所：富山県庁舎 4階大ホール

3 説明事項

- (1) 「人×経済」の両輪で富山県を前へ！
～オール富山で推進する両輪パッケージ～
- (2) 令和8年度富山県中小企業支援施策

委員からの主な意見（要旨）

(1) 中東情勢について

- ① 原油や、物流コスト、エネルギー価格の高騰により広範囲に業界への影響が懸念される。
- ② この問題は非常にネガティブな問題で、変化速度が速く、対象となる事業者の範囲も広範で、かつ、影響の度合い、特に長期化の可能性がまだ十分に想定できない。
- ③ 国のガソリン価格抑制のための補助、備蓄石油1か月分の放出等も始まっているが、影響が長期化してくるとどうなっていくかわからない。引き続き注視したい。
- ④ 人手が足りなくて発注があってもなかなか受注ができないという現状。受注しても今の中東情勢の問題も含めて、現場で物が急に変動し、対応ができないということがある。
- ⑤ 原油調達に関しては、米国を中心とした新たな調達先やホルムズ海峡を通らない代替ルートを確保など、将来的にはリスクを分散した政策がとられるため安定するとは思いますが、足元は非常に激しい動きとなっており、資金繰りに影響を与えかねない状況も懸念される。

(2) 中小企業支援施策等について

- ① 労働組合の賃上げ状況については、過去最高であった昨年(R6)を若干上回る水準が出ている。これを何とか中小企業の賃上げに結び付ける大きなうねりを作る必要がある。
- ② 中小企業が稼ぐ力をつけるのは簡単なことではない。価格転嫁、生産性の向上については、サプライチェーンやグループ内でのサポート体制が必要。
- ③ 価格転嫁の取組みなど従前からの取組みが必要であると思うが、原油価格高騰の影響は確実にあると思うので、あまり簡単ではないと思う。
- ④ スタートアップも大変重要だと思う。色々な優れた技術が、今たくさん埋もれていると思う。それを発掘するような機会を、県としてきちんと整理し、発掘したら育てることに力を入れるべき。

- ⑤ 色々な融資制度があるが、将来展望が見込めなくて尻込みをしてしまうことが多くあると認識している。
- ⑥ 県の施策を検索できるようなサイトの紹介があったが、検索しないと探しにいけないので、登録したら情報が入ってくるものもあったらいいと思う。

(3) 人材確保・育成、働き方について

- ① 県でも人材確保の富山モデルの構築などに取組まれるなど、人材確保対策に尽力いただいている。富山県の魅力をさらに向上させ、官民一体となって、県に住んで、働く人を増やしていくことが必要であり、そのための周知徹底が非常に大切。
- ② 海外人材の活躍は大事。海外から選ばれる富山県になるには、日本語や文化の教育が受けられる設備、施設を整えることを考えてもよいのではないかな。
- ③ 外国の方もできれば長く日本で仕事をしたいと思っているが、在留条件の関係で日本に定着しない。結局は人手不足が解消されない。
- ④ 首都圏で発生する約 200 万人の余剰人員について、ほとんどがホワイトカラーであり、各地方で求められているエッセンシャルワーカーはブルーカラーに近い職種が考えられる。
- ⑤ 都会で溢れたホワイトカラーにブルーカラーの仕事をやってもらわないといけませんが、そのメカニズムが確立されていない。
- ⑥ 地域プラットフォームを確立して、産業界、企業の方、大学、高校も含めどのような職種がどれだけ必要なのかを考え、それぞれの定員を決めた教育方針を出してほしい。
- ⑦ 大学だけでやっていたが、大学が高等教育を助けるような形で、地域で優れたエッセンシャルワーカーを輩出できるような体制が必要。
- ⑧ 効率化・省人化に直結するので、色んな方が AI を駆使して、それを道具として、いろいろな仕事をこなしていただく、そういう体制を富山県全体でできるとよい。
- ⑨ 最近の傾向として、従業員の処遇改善をして人材を確保したいという動きがあり、多様な人材をどう確保するかという取組みが進んでいる。
- ⑩ 富山県はものづくりが盛んでもあるので、親への啓蒙活動というのを是非していただきたい。
- ⑪ 高校よりも早い小中学生の段階から富山県の産業の魅力をしっかりアピールし、長期的な目で考えていただきたい。
- ⑫ 若い人材（大学生）が富山に 4 年ないし 6 年生活して非常に良かったなという印象を持つことが非常に大事。学びのなかで、地元の企業と共同研究をしたとか、仲間内で起業するなど、富山と何かしら結び付けを強くしていきたい、そういうよい印象を持ってもらうことをしていけない。